

（日） 日 七 月 十



⑨

今日は釜ヶ洲へ行軍だ。朝  
起きると頭が痛かったので  
米山先生に申し上げると先  
生は、寝てゐうつしやいとあ  
つしやったので寝てゐると  
熱をはひつてくださった。熱  
はなかつたので起きて、学  
校へ行った。あべんむうを  
つめていただと、おと土岐  
さん、山崎さんと、菅村さ  
んのじはんを持って寮に歸





って来た。しばらくすると、  
 近藤先生がいらつしやった。  
 少したつと中川さんのお  
 母様がいらつしやった。中  
 川さんはお歸へりになる  
 ので、荷作りをしていらつ  
 しやった。お昼食は十二  
 時にいただいた。三時ご  
 ろまで起きていたが頭が  
 痛くなつたので、近藤先  
 生をさがしたがいらつし

やらなかつたので、寝やう  
 としておると、近藤先生が  
 パンを持っていらつしやった。  
 それをいただいたから寝  
 た。



十月八日(月)



今日は新しい時間表の一日めだ。朝、図書館で、中川さんにおめかしをした。一時間めも二時間めも自修だった。三時間めは算数で、分数の通分をした。今日から算数や理科は加藤先生になった。午後は寮に帰り、勉強をしてゐると、上原さんのお兄様とお姉様がいらつしやうた。お八つに転パンを六つついただ

十月九日(火)



今日は、第二日めの授業をした。一時間めは図書館の一ぱんはえいらん室で、四年生といつしよにお裁縫をした。私達は穴かがりをした。二時間めは自修で、穴かがりのつづきをした。三時間めは自修だった。四時間めは算数で、分数のかけ算をした。午後、寮に歸

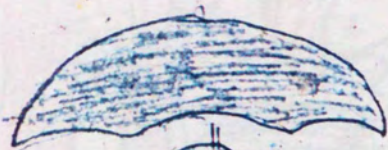


(水) 日 十 月 十

735



127

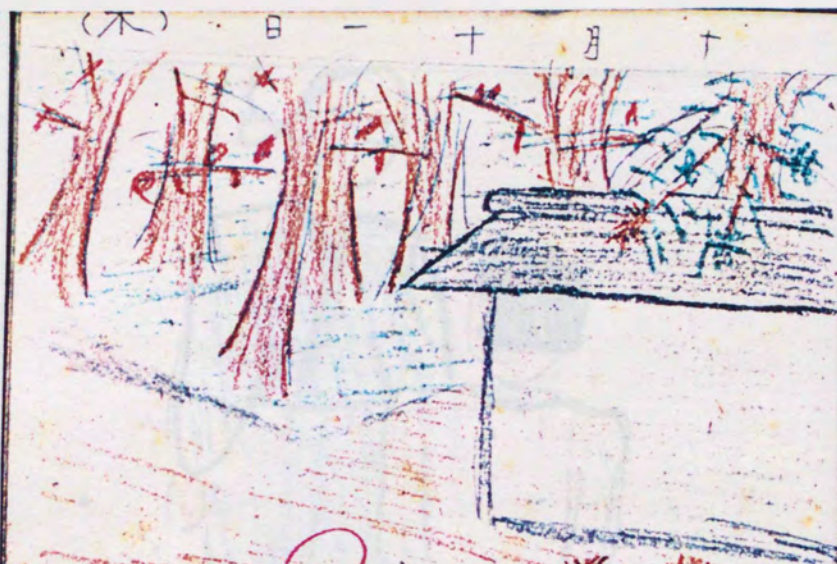


215

今日は、一時間めがう、四年級  
上は、堀先生の特別授業が  
あった。富山の地理をおならひ  
した。始めは、福光とその近所  
をした。それから富山の地理を  
した。川の所をお習ひした  
時、小矢部川のことになり  
流れの早さになった。さうして  
小矢部川に行き早さは  
かることになった。午前中は  
あと少ししか時間がたないので

リ、足をふいて、おろし上原さんが  
おめかれにいらつしやつて、  
河井さんと、驛へいらつしや  
った。段々皆んな帰って行  
くのでさびしくなる。それ  
から二階にあがり、あみ物  
をした。





見て来るだけになった。高宮橋は、しなり、ひびが入って、下のささへてある橋はぶらぶらだ。吉波寮の近くはけずられ、てゐた。午後は、高宮橋から福光橋まで歩足した。さうして私達は、福光橋の所で新聞や、木の枝の流れつくのをまっしてゐたが、何回やつてもつかないので、たうくやめて、又、福光橋から高宮橋まで歩足して、學校に歸った。それから、お夕食まで圖書館にゐた。今日は、午前中、五年生は、東太美へ、お野菜を運びに行った。朝食がすむと、皆、寮へ歸つて来て、お洗濯をいた人もあったが、私は荷物の整頓をした。九時半に前田寮を出て、福光橋を渡って行った。東太美の農業會で、お野菜をいただく。





た。私は風呂敷がなかったの  
で野村さんといっしょに持った。  
池上国民学校の疎開してゐ  
るお寺の衆のサがなみ出して  
参ちやうで柿のサも赤くな  
つてゐた。二人だと持ちにくい  
ので、一人で持つて途中でかはつ  
てたらおそくなつてしまった。  
午後は私がまずうんの部屋  
にゐて少したつと野村さんが  
入つて来た。頭がぬれてお




たのでどうしたの。と聞くと、  
がみ洗ひよ。といったので、びつ  
くりして下へ行くと、もう皆ん  
たすんでゐたので有賀先生  
に申し上げると、もうしなくて  
いい。とおつしやつた。それ  
からお風呂に入つた。  
どうして人ばかり残つてゐたのか、  
みんなと一緒にお風呂とすゝ水に氣を  
（けませう）



A close-up of a drawing on a grid background. The drawing consists of a red circle and a red line. The circle is located in the lower-left quadrant of the image. The red line is a curved line that starts near the top center and extends towards the right edge of the image. The background is a grid of blue and yellow lines.

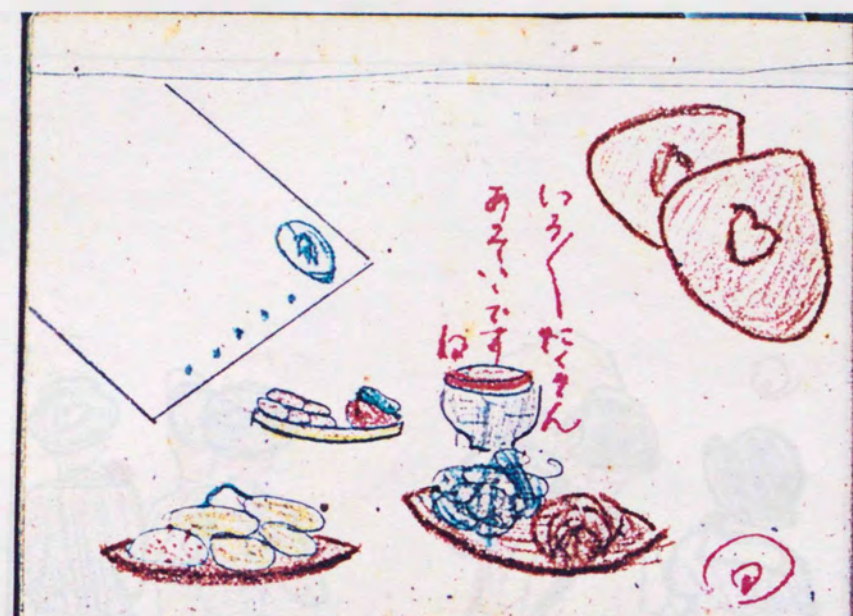


別野人です





十一月十三日 (土)



今日は第五日めの授業をした。  
午前中は、六年生と、男の先生  
方がよき運びにいらっしやったの  
で、四時間めの国史だけであと  
は全部自修だった。午後寮に  
歸り、しばらくすると、出発用  
意になったので、さういふ早い  
なと思ひながら、時計を見る  
と、まだ三時半だった。今日は  
有賀先生が今度、この學校  
をめでたくなつて、長野縣  
の中野高等女學校の先生に  
おなりになるので、その訣別式が  
あった。ごちさうが出来、私は  
食事當番だったので、野村さんと  
二人で、てんてこまいをしてしまつ  
た。やつとつけられたと思つたら、  
今度は、ごちさうが机の上に乗  
ら~~ず~~に困つてしまつた。夜、迫水  
さんのお父様が持つて来てく  
ださつた、お菓子と、坂口さんのお  
父様が持つて来てくださつた。



十月十四日(日)



葉書をす放つていた。ただいた。

起床の聲で起きたが、中々おむくで起きられな。洋服を着て洗面をせずに外に集った。私はお手洗に行き、外に行くともうだれもいなかった。ので、綿内先生や茂木先生といっしょに、驛へ行った。少したつとすぐに、汽車がホームへ入って来た。私達は何回も「さようなら」といった。「ジュン」と汽車が出た。私達は、又「さようなら」といった。有賀先生のハンケチが見えなくなるまで、私達も手をふつてゐた。今日は、よいお天気のやうなので、行軍といふことになった。蛇谷へ行くのだ。始め、二年生の<sup>東太美の</sup>影近さんのお家へ行った。畠の所で影近さんの、あざい様におあひした。影近さんのお家につくと、影近





さんが弟さんをおぶって出て来た。お庭の柿をうづついただき、つきたべ、一つのこしておいた。それから四年以上は蛇谷へ行き、三年はここで、お晝食をいた、だいて歸るのだ。途中で雨が、ぼくくと降って来た。蛇谷に、ついた時にはもうざあーと降って来た。笠を替ってゐる人だけで上より蛇谷を見、歸ると、笠のない人にかしめて上げ、私達はがけの下に行った。やつと止んだので、下に降り、橋の近くで、おべんとうをい、ただいた。歸りは、西太美を通つて行つた。上から見ると、小矢部川がうねくと、まがって見える。道々、柿の木の下には、柿のみの青いのが落ちてゐるので、むらった。学校につくと、すぐお夕食だった。夜は、寝床用意が早かった。



十月十五日



今日は休養だ。朝食後、寮に歸  
つてから、五年の大きい方から、六  
人、塩いかのはいさうがあつたの  
で取りに行った。それから、あみ  
切をした。午後は寮に歸り、  
ずうの部屋で日記を書いてお  
る。先生がまんとんを持って入  
つてゐらつしやつた。お八つに  
まんとんをいただき、それから、  
なつめをひろひに行つた。



手に入りきれなくなつたので、ポ  
ケットに入る、ポケットがパ  
ンクになつてしまつた。死  
食の時は、午前は、運んだ塩い  
をいただいた。でも、塩が、  
て困つた。夜、さつぎひろつたな  
つめをいただいた。



(火) 日 六 十 月 一 十

オヤ、ミナ  
多勢ヨツテ何  
イサカレ  
ア、コラ、今  
ユトカ



今日は、第六日めの授業で、一時  
間めは、神社の境内で、明日の娛  
樂會は何をするかきめたが  
さうらずに、二時間めになった。  
三時間めは、喜門先生に、日本は  
なぜ負けたか、といふわけを  
お聞きした。四時間めは、自修  
で、午後は寮に歸り、明日の  
娛樂會のことをきめた。柳  
野さんの、幼年クラブの中の

カヘルの兄弟をなほしてす  
ることになった。やくや、その  
他の物をきめた。夜、カヘ  
ル、やおめんをつけたければ  
あからない人はおめんを作  
り、一段落つてから、柿を三つ  
いただいた。





南島太郎



今日は楽しい娯樂會だ。朝食が  
すむと、八時三十分から始めた。  
一番は中郷寮の、父うちえんの  
歌。二番は西尾寮のしやうが  
お山の杉の子。三番は坂寮は、  
なご、どん、進んだ。寅の笠  
は、學校で、六年生がやつた時  
のことを思ひ出した。私達の  
番になると練習がたりないせ  
いか、何だか胸がどきどきして

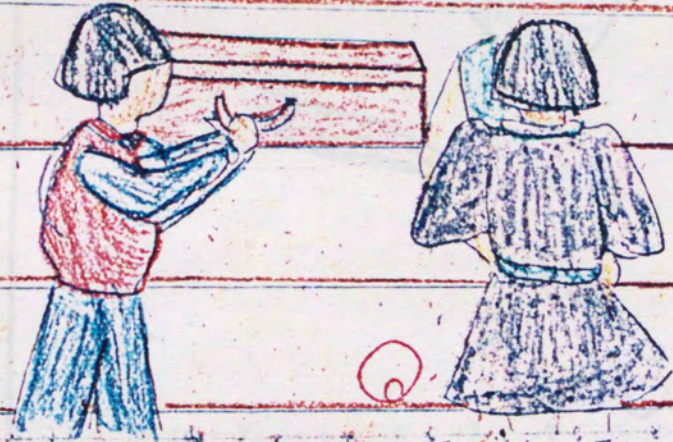
困った。最後には、堀先生が、  
七、~~遠藏~~物語をしてくださった。  
娯樂會がすむと、お晝食ま  
で約一時間あるので、校庭で  
日なたぼっこをしてゐた。  
午後は、自由だった。くっ下が  
片方出来たが、しつは、いしたので  
ぼどいてあみこはした。  
書き忘れた、くっ下の配給があつた。  
私は、黒と白と、両方いただいた。



（木） 日 八 十 月 十



今日は休養だ。私は荷物の整頓をした。それからうづつあみ物をした。リ日記を書いた。リした。午後ははなを、作リ、日記を書いた。リしてゐる内に茂木先生がお部屋がへのだれがどこへ行くかといふことをきめてくださった。それで、くづ引をした。私はすみれで、佐竹さん、梅谷さん、中根さんといつしよだ。それからお部屋がへをするとおそくなるので、夜することにして、お夕食に行つた。寮に歸つてから、お部屋がへをした。かたがいてから柿をいたいだいた。



私は夏のときのことだといふた。



(金) 日 九 十 月 十



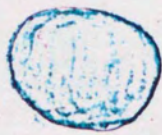
9.

今日は、第一日めの授業だが、赤松國  
民學校が、東京へ歸るので、おめ  
がれの式があつた。九時三十分こ  
ろから始つた。それまで、お裁縫  
室で、あみ物をした。くつ下が、か  
た方出来たが、めりやまはぎが  
へんななつて、まつた。  
お式がすむと、圖書館で四時間  
めをした。理科だが、地理をした。  
午後寮に歸り、トマトがもう赤

くならないので、ただいた。

0

日記を書いてゐると、岩田さん  
のお母様がいらつした。それ  
から、岩田さんのお母様が  
持つて来てくださったさつまい  
もの、ふがしたのをいただいた。  
ひさしぐりにいただいたの  
で、とてもおいしかった。しばらく  
くすると、私と佐竹さんと、高  
島さんと、柳野さん、平松さん  
で、こゝ屋さんに行つた。赤松







校の見送りをしに、床屋さん  
から歸ると、大急ぎで列に入  
った。長い間まつて、汽車が入  
つて来ると、赤松の人は、めつ  
と喜んで、それに乗った。汽  
車走出すと、さうなうたら、と  
私達も羊をふつていった。  
歸ると、ごちさうが、澤山あ  
るのでびつくりした。さつま  
いもの、たのし、ずいこと、あ  
いも御飯だ。たべてゐる中に  
おなががはつて、困つてしまつ  
た。とうく、あいものをのこし  
てしまつて、寮に歸つてから  
いただいた。







D  
デイ  
ドッグ、犬



朝食後、お米運び、おいも運び  
が、もう少ししたつと、おみ洗ひな  
ので、寮に歸った。四年生からし  
たので、その間に用意をした。  
昨日床屋さんへ行ったばかりな  
ので、おみ洗ひをする。と、すー  
て少し寒かった。午後、運動場  
で、明日の運動會にする。工場  
のおゆうぎの練習をした。私  
は、昨年やらなかつたので、よく  
いらなかつたが、皆んながおい  
へてくださったので、すぐにおぼへ  
られた。それから寮に歸り、五  
年の人、いきなりから這入った。  
暑くて這入れなかつたので、お  
湯を何回もくぐり、おぼつて出た。  
それから出発用意まで、あみ  
物をした。夜寮に歸り、しば  
らくしてから工場のあゆうぎ  
の練習をしたが、下でひびくので  
やめて、岩田さんのお母様が





モウカヘルノ?

サヨウナラ



持って来てくださった。英語の  
ルタをした。

今日はほんとうならば、運動會  
なのだが、雨天なので、せつかくの  
運動會も、来週になつてしまつ  
た。朝起床前に、岩田さんが  
お歸りになつた。學校に行く  
前に、あけびをいただいた。始  
めて、いたかくので、たべ方をし

うなかつたが、とてもあまくて、  
おいしかった。第三日めの後  
業で、國語は書取をした。

地理は九州をした。午後寮  
に歸り、自由だ。出発用意  
が四時で、學校に行く。お野菜  
運びをした。今日は石田先生  
の感<sup>敬</sup>び會で、ごちそうが澤山  
出た。おはぎや、ずいこのおあ  
ものや、その他まだあつた。  
柿が三つ出たがつた。二つ





十一月二十一日



のこし、寮に歸り日記をつけな  
がういただいた。

今日は第三日めの授業で、國語の時  
には、初等村國語六の第一しや  
ゝ明治神宮にはひつた。戦時が  
こんなになつたため、この水兵の母  
の姿なき入城。九の十二月八日  
十の、不沈艦の最期。十八敵前  
上陸。は、出来なくなった。

佐竹さんとお父様にとり  
感心のとて以てわすれ  
サヨウナラ



二時間めは縫いでシヤツをやつた。  
もう弟のたつてある人が三人、  
たつてゐない人が二人、弟のたつて  
人が四人で、弟のたつてない人は、たつて  
のち手使をした。三時間め四時  
間めは自習だった。午後寮に  
歸つてしばらくして、がう有買  
先生にお手紙を書いた。  
佐竹さんがお歸りになるの  
で、三時ごろ驛まで送りしに





夜寮に歸つてから、皆んなひ  
な菊の部屋に集つて、柿を二つ  
づついただいた。野村さんのお父  
様が來ていらつしやつた。

今日もお天気ならば運動會  
なのだが、曇天なので、授業に  
なつた。朝興助先生が、「お天気  
になりしだい運動會をいたしま  
す」とおつしやつた。一時間めに



は、西尾寮からまき運びをし  
た。國語は、明治神宮の参  
拜をした。あとは全部自修  
だった。午後荷物の整理が  
悪かつたので、たなの下を掃いて、  
荷物の整理をしたり、洗面器  
のおき場所をかへたり、くつ  
ばこの整理をしたりした。  
時間表をうつしてゐると、小  
泉さんのお母様が面会にいら



十月二十四日(水)



つしやった。それからお八つにパン  
どぶどうとうをいただいた。小  
泉さんのお母様が千葉縣から持  
つて来てくださったのだ。夜石田  
先生がいっしやうて、軍のお  
話をしてくださった。

今日は第六日めの授業をした。  
算数が自修なので、一時間めは國  
語の、一明治神宮を終った。  
後は全部自修だ。俳句が二つ浮  
んだので、俳句帳に書いた。日記を  
書いてみると、森木先生がおねぎの  
かはをむいて、うでうだ。とあつ  
やだったので、炊事場に行きかはを  
いて来た。すぐに午前中はたつ  
てしまった。午後、寮に歸ると、い



(木) 日 五 十 二 月 十



今日は晴れてゐるため、運動  
會かと思つてゐたが、運動場  
がぬれてゐたので、あつて  
しまった。午<sup>①</sup>前<sup>②</sup>日記を書  
いたり、國語の字のあけいこをし  
た。午後、講堂で、音んなで、ま  
つなぎををした。ずいぶん  
暖くなった。それから、おす  
まうを見てゐた。三時ごろ  
寮に歸つて、カンパシと、ア



お天氣なので、吉江國民學校へ  
おさんぽに行つた。私は先生と、講  
堂の入口の所におた。お熊物語  
を讀んでくだつた。歸る前  
に、工場のあや<sup>①</sup>の練習をした。  
生徒さん達が、見てゐて、歌を  
歌つてくだつた。お夕食の時  
柿が出たが、あつた。あつて、は  
うたので、夜食に歸つてから、  
うすらの部屋でいた。だいた



(金) 日 六 十 二 月 十



今日は運動會だ。八時三十分ごろ始つた。それまで、おすまよう場の上で、まるを拵つて、背巾をこゝろにつてゐた。國民學校の時にくらぶる人、數がどても少く、ちよつとさびしい氣がした。体操、二三年の徒競走、五六年の足切り、ほうし取り、女子の、工場のあやうぎ、五六年の徒競走、四年以下、のボール送り、職員競走、



ドウトウをいただきながら、國語をした。夕食の時はとても御飯が多かったので、御飯だけでおながひはつてしまった。別に、また、さつまいものふかしたのを皆んなのこしてしまつた。定察に歸さつまいもをい





全体のリレー、棒乗の足腰振る、  
 四年級下の徒競走がすむと、  
 赤白に別れて整列した。男子  
 もいっしょだ。男子とするのは  
 始めてだ。私は赤だ。でも、國  
 民学校の時のやうに、上手に行  
 かない、なれていないので、一回  
 やっただけで、くたびれてしま  
 った。二回やったが、残念にも



二度とも負けてしまった。  
 男子のぼうし取りは、赤が勝った。  
 岩倉さんはずるいことをして、ぼう  
 しのひもを強くしめておいたの  
 で、掘田さんが取った時に、こ  
 とも面白いかつこうをしたので、  
 大笑ひをした。工場のおやう  
 ざを始ると、福光校の人達が  
 出て来て、見入るので、はづか  
 しくなってしまうた。



博にして三須さんがそこをまわっている。「始め」で始め  
 る。このあつと聲を上げた。「取りました」の聲がすると  
 はつとして見まはし、自分では、安べしええ取る。  
 その内に、私も取られてしまった。二度目は終りの方ま  
 での二つたがたうい、最後までこのうづに取られてし  
 まった。三回戦で三回とも赤が負けてしまったが、地  
 先生が終りに、赤の大勝利とおまぢがへになった  
 ので、私達は萬歳をいった。午後、日記が今日だった  
 ので、つが水休みだ。などいって書くのをふしとした。

運命今残りハハ



under 45 54



十一月二十日 (土)



今日は立野ヶ原へ、久し振りに行軍だ。  
 前の夜間演習みたいにお晝はおみそ  
 汁を作つて、楽しく遊んで来るのだ。  
 私達は、ごる、また板ほうろく、たきつけ、  
 なごを替つて行くのだ。行く途中、道の  
 端に柿の木があり、澤山なつてゐる下で、  
 僕がお母さんに、柿取つて、ごせがんで  
 ゐるのを見て、俳句がうゝ出来た。  
 母親に、柿を取つて、ごせがんでる。



どん、字の練習として、上子になり  
 ませうね。繪は随分よくなりまし  
 間違つた字、前の字と見比べると、  
 早くおひつたませう

十一月三日

前の滑空訓練所で、次事に、柿のお水  
 をくんで来た。滑空訓練所は立野ヶ原  
 農業會になつてゐた。ついで、  
 めた所は、前、滑空機が飛んでゐた所  
 だった。荷物をおき、少し休むと、男子と  
 女子に別れて、五年級下は、たき木、秋刈に  
 行つた。持ちまき、なくなるほど持つて、歸る  
 少く休み、お水がうたき火にあたつた。  
 買ひ出しに行つた人達が歸つて来ると、  
 買つて来たお水も、宮地先生がたき火



（日） 日 八 十 一 月 十



今日は休養日。よいお天気なので御前中  
吉江校へ日なたぼっこをしに行つた。  
ほかく日あたる階段で日記を書いた。  
り、先生に本を讀んでいただいたりした。  
八百谷さんでやう、まぐさまぐさ  
あんまりじつとしてゐるのもつまらないの  
で一回ぐるりと校舎のまはりまはり  
少し休んでから寮に歸つた。もうあ  
そくなつてしまつたので、足袋をはい  
てゐる人だけあがつた。午後、一班か  
らかみ先ひをした。それから、お洗

にお入らになつた。それから、和室につづつた。だいた。するく、すぐにお晝  
食になつてしまつた。おみそ汁があつたかくで、御飯がとておい  
かつた。食後に柿をいただいた。またさ火にあたつた。少し休むと、三色  
瓢が指まつた。おは、昨日の夕ほりだ。始の二回戦は赤が勝つた。  
筆がないので二度めは、二男の、中島さんと辻さんが、筆のかは  
りになつた。三度めは、人のがはりに、おげを陣にし、せんめつ戦  
になつた。せんめつ戦は、残念だが白の勝になつた。それから  
少し休み、學校に歸つた。少し早かつたが、お食事をした。  
夜は、早く寢て、お意になつた。





濯をした。それから日記を書いて午  
後をすごした。夜お風呂に這入っ  
た。二班からでねは一番に這入った。  
よくうまっていたので、熱かっ  
た。下の板がこはれていたので、一  
しか這入つてゐるが、板が浮いて体も浮  
いてくるので困ってしまった。出てから  
は、寝間着を着てゐた。本を讀みな  
がら、お話を聞いた。

今日は、城端まで行軍だ。朝神社の境内  
を出発し、高宮橋をわたリ、いつも立野  
原を行く道を通り、うきまっすぐ、行  
くと十字路に出た。そこで休憩した。  
國行さんが、おははづきをきつて  
来たので、私達は草の中に飛びこんで、  
おはづきをきいた。出発になり、所  
どころにローマ字の書いた、立木が立  
つてゐた。城端につくと、今までよりも  
もっと、翠山立木がたつてゐた。





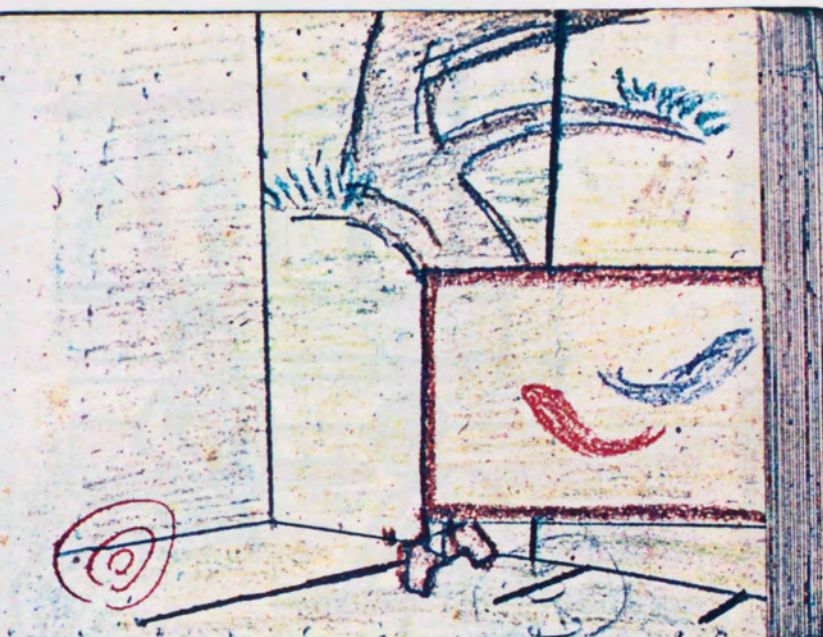
マラコニモアルワ



別院のそばに野井さんぬをば麓に  
おあひだ。別院についたのはよてい  
よりもずい分早かつた。始めはこの  
近くで休んでいうつしやいとあつしやつ  
たが別院の方がぬるもてくださつた  
ので本堂に遠入共拜見した。廊下の  
方に行くところの方に二つあかごがあつ  
た。奥の方からこのお寺をしきなさ  
るうが出ていもつしやつてもつとくはし

ん。あつてくださつた。ここは前  
ときは松國民學校が疎開してゐた  
所だ。この間歸つたが両親がな  
くなつてまだ東京に歸つてゐな  
い人が三人ぬあまふ。その話になつた。  
ここは三百年ほど前に前田の殿様  
のお聲がかりで作つたお寺だ。ここ  
がまだ一回も火事になつたこ  
とがないさうだ。間かづは百六つ  
だ。たみかづは十六百尺だ。さうだ。





あんまり男のびびりしてしまつた。いろいろお部屋を拜見して初使がいらつしやる所まで来た。とてもさういひあらはせないくらいだ。そほりぐるりとまはると、又もとの所に出て来た。お、廊から下を見ると石田先生がのんきに眠つていらつしやつた。お晝食最中に、柿をくばつてくだつた。あまぐておいしい柿だつた。出發は十一時半だつた。坂をあげたり、

ありたりして、立野ヶ原についた。いつもの立野ヶ原とはちがつて、いかにでこぼこしてゐる。おひる時はとんくくとありて行つてしまふかのぼる時は大へんだ。やつこのぼつたと思ふと又くだりた。くた／＼になつてしまつた。いつもの所の一つ手前で休憩し、それから立野農業會の前でも休んだ。何回もその前に休憩した。休んでゐると、石田先生が自轉車に乗つてゐらつしやつた。この前休憩した所で、お晝寝をしてゐらつしやつたのだ。學校に歸ると、すぐお夕食だつた。夜つかれたといふので、寢床用意が早かつた。





今日は休養かなと思つてゐたが、作  
業だった。六年生は太根の間引き  
で四五年は八月一日に運んだ。  
まが学校の所のまきがなくなつ  
たので、屋根をこはし、それを西尾  
寮に運ぶのが。喜門先生と加  
藤先生がそごをぬきになり、  
かき下し、とやりくりになる。屋根  
はたちまちくづれた。私達は



その板についてゐるそごをぬいた。  
そばにある石でこつくとたたくと  
ぞんぞん出て来る。それをそごぬ  
きでぬくのだから、はすぐに終つて  
しまったので神の境内で泊る。たば  
こもいそいでた。午後、休養な  
ので、おはし記を書いた。夕食  
の時に宮地先生が、明日は今日や  
昨日のやうに、お天気がよければ、  
しやつたのでうんざりしてしまつた

しやつたのでうんざりしてしまつた



水 日 一 十 三 月 十



今日は、お天気がよいので、くわ山に行  
軍だ。朝、興助先生が十一月の行  
事を、おっしゃった。道中の雨は、  
には、もういらいなものか、下して  
あつた。いつも通る所を、通らな  
い。その道を、見送りすぎしてしまっ  
たので、私達は、へんだなと思つて  
ゐたが、さうとうから、さうだうう  
と思つて、歩いてゐた。トニネル

の近くで休んで、宮地先生が「どうだったかな、何んで、お  
おつて、やつたの、でも、つと前ですよ。と私達が、いつた。とば  
ら、休憩した。その間に、宮地先生は、近所の方にお聞にな  
つた。すると、いや、ここからは、登れませんよ。とおっしゃつたの  
で、ひつかり、へすことになつた。今度は、本通りの登る所から登  
つた。喜門先生が、頂上まで、手をふつて、いらいやつた。  
途中で、河田も、休んで、やつて、くわ山について、上を見るとき  
喜門先生が、「早く、い、あけびを、くはすぞ。」といつて、い  
つしやつた。さうして、さうして、荷物をおく。私は、興



に這入つて、栗をひろひに行つた。高島さんか、青つぽいま  
のこを見つけて、先生にお見せすると、だべられるかも知れ  
ませんよ。とおつしやつた。栗をひろつて、幾々中に這  
入つて行くとき、さつきのきのことが見つかつたので取つた。  
すぐに、「盡く食用」となつたので、私の荷物をこが  
た。仲々見つからないので、場所にはつた時に、目とうがかつ  
てしまつた。食後に、さつきの栗をひろつた栗を少したべた。それかう  
又、さつきよりも、さつきの栗に這入つてこがした。今度は、さつきも見  
つかうないのに、集合になつた。歸りは、一番始めに登つた

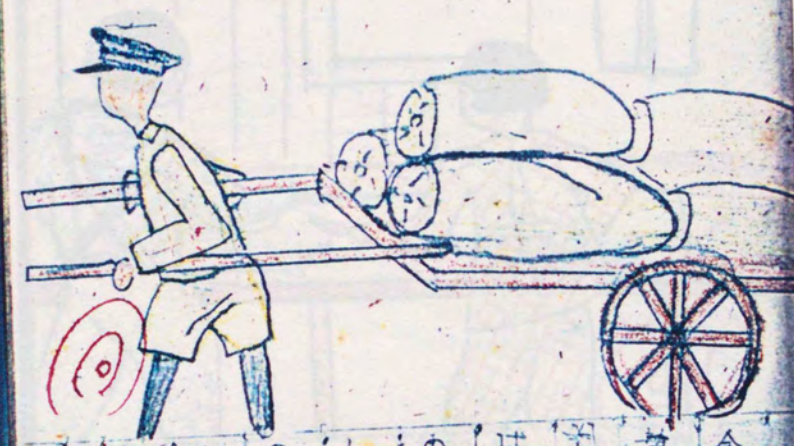
所から降りた。面白いほどぐんぐん降りた。途中に野  
ブドウがなつてゐたので取つた。今年始めてたべた  
のだ。とてもおいしかった。降りると、ほつりほつりと雨が降  
つて来た。途中で、みいさんになつたので、前田寮に歸つた。  
おやつに、さつまいものふかしたのに、柿とさつき取つて来た  
栗をたべた。

日記をひらいて、急いで書いた。さう、終りの方の字が少し  
い、かげんです。一字一字もサレしつかり、お書きのゆゑへ  
この次から、ためらい様にがんばりませうね。

十月八日 検



(木) 日 一 月 一 十



今日は一日の授業を終えた。八國畫地理の  
算数で、一時間のは、阿部先生がい  
らっしゃらなくて、自修だった。地理  
は九州をたふ。午後、お天気な  
ので、神社の境内で、日なたぼっこを  
してゐた。私は、中根さんと、どうも、  
の所で、外を通る人達を見てゐた。  
さつまいもの配給の、車に、ついで  
り、背中に、おたけ、運んで  
ゐた。柿内先生が、前田寮、歸りな

土	3	10	17	24
金	2	9	16	23
木	1	8	15	22
水		7	14	21
火		6	13	20
月	5	12	19	26
日	4	11	18	25





日 一 月 一 十



随分首の  
はなみね

す。とおつてやうたので寮に歸つ  
た。夕食の時に明治節の歌のお  
けいこをした。夕食はおいものだ。  
ただ、夜柿をいただいた。

今日は授業日だが、一時間めのお裁縫  
がすむと福元校と明日の明治節の  
お式のおけいこをした。おけいこがす  
んで、図書館に這入る。ちやうど  
四時間めの授業が終わるところだつた  
ので、授業をした。午後、菅村さん  
といつしよに、日記を書いた。夕食  
後寮に歸ってから、整正服を出した。





今日は楽しい明治節だ。洗面がすむと、  
なな整服を着た。私はわになつてしまつた  
ので困つてしまつた。朝食がすんで少しの  
間は神社の境内で遊んでゐた。  
雨が降つて来たので、又整服に這入り、  
廊下で遊んでゐた。九時半からお武が  
始つた。校長先生で、町長さんのお話か  
あつた。お武は思つたよりも早くすみ  
了つた。午後、先生方はお夕食の



お夕度でおいそがしいので、柿内先生と  
寮に歸り、今日の御菓子を取りつくた。  
さつ入、柿内先生も、寮にいらつしやつた。  
二時半ごろいたたふもりで勉強を  
してゐると、百合子さんがあつた。ものゝけした  
のを待つて来てくれた。お武は先生  
がいらつしやうなので困つてゐると、お武  
が、お武は先生とあつたので、いたた  
いた。まだあつたかくして、お武は  
あつた。お武は先生とあつたので、いたた



モイオ



オカカヲヨハサナキヤ

イイが子

ものは、二つで、ゆきい方は、コブがシミ  
いで、太きい方は、ゴスケツミたいで、て  
もあいしかった。たべると、ふつうの一食  
かぐらひあながはつてゐた。学校  
に行く、黒板に、人々、オ、ブ、オ、イ  
モ、ア、ア、ア、が、書、て、あ、り、顔、か、た、う  
が、西、白、く、書、て、あ、つ、た。夕、食、は、ご  
う、さ、う、で、肌、が、い、つ、ぱ、な、つ、た。あ  
ながははつてゐるに、又、ごうさう  
で、さうさうの、こ、し、し、ま、つ、た。夏、を  
歸、つ、て、が、う、さ、う、を、い、た、だ、き、棉、も、い、た  
だ、い、た。もう、あ、な、が、は、つ、て、う、ご、は  
な、い、く、ら、ひ、だ、つ、た。森、田、さ、ん、が、棉、を  
く、だ、さ、つ、た、の、で、そ、の、棉、を、だ、い、て、穿、た、





今日は先生方が庄川のダムを見にい  
らうと、しやるので、のこっていらつし  
やる先生は齋藤與助<sup>先生</sup>だけだ。朝食  
後、しばらく休んでから、ぶらぶらとこの  
さんぽに行つた。方々のお言ひで、うの  
家には桶がすずなりになつてゐる。  
行つたのは玉山の近の荒宮神社  
だつた。そこへつくと、休憩し、又歸つて  
来た。あんまり、馬をはいて歩い  
たのではな、さず、氣を休めてしま

つた。歸るうちやうどお昼食だつた。午後、先生が、お大郎川へめ  
のうをひろひに行きませう。とおつしやつたので、出かけたが、途中  
で雨が降り出したので、かき足して、お裁縫室に歸つて来た。  
そのまゝ、あゝは、そこで、遊んでゐた。業者が來たので、先生がく  
ださつた。小包を送りました。と書い、あつたので、とてもうれしか  
つた。夕食の時は、まだ先生方が歸つていらつしやうなかつた。寮  
に歸る時に、雨が降つてゐたので、お崎さんが傘を取つて來てくださ  
つた。寮に歸ると、小包が來てゐたので、早くあけたくてたまらな  
かつた。國行さんのお母様がおつた。おもの、あつたのを、持つて來  
てくださったので、就寝用意の前、にいただいた。



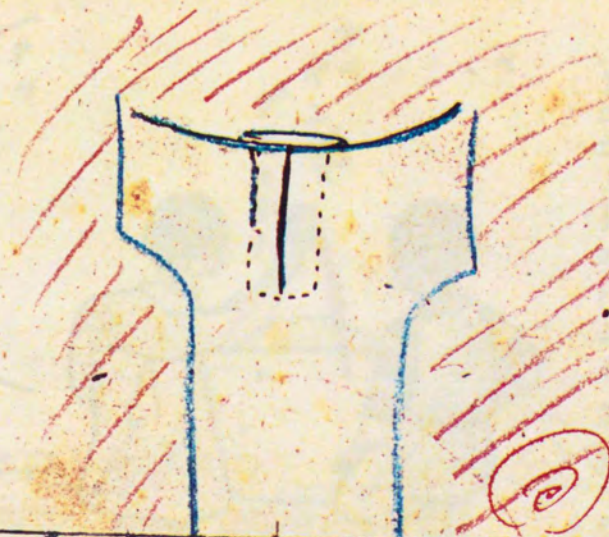
十月五日



今日は第三日の授業だ。英語習字、  
地理、音楽、体育でお習字の時間には  
二大力作完成を練習した。  
時間の終りに今日練習した所を  
先生にお見せした。地理は九州  
さやう音楽は練習だった。  
の書画は国語をいへる送りに行  
くので早のにいたった。足のき  
れいな人に荷物をおいて来ていた

だいて、まってるゝ國行さんか来た。いっしょに驛へ行きしげら  
く、まってるゝと、汽車が来た。さやうなら。ときをふりながら  
段々通ざかつて行つた。寮に歸ると、すぐに昨日来た小包を  
あけた。ごつうや、せつけん下駄、ミヤツのきれや、いろくな物  
が這入つてゐる。とてもうれしかった。それから菅村さんと机  
をわかつて日記を書いた。あやつに病とさうまいものふがしたの  
をいただいた。





今日は第四日の授業をした。  
二時間のは英語だが先生がいらつしや  
なかつたので、自修になった。二時間  
のはお裁縫で、皆人はは後のひだの  
しまつてたが、私は昨日来た、マツ  
のきれをたつた。置きは自修だつた  
ので、英語をした。午後、寮に歸り  
今更たの来、きききききききききき  
なつたので、おやつに、柿をいただ



きながう、つづきききききききききき  
なにおひついた。  
夜、先生が、今更、本田寮に、うつるこ  
とになりきききききききききききききき  
私達は、皆人ないやだつた。せつか  
くなれたのに。きききききききききき  
生も、吉波寮に、いらつしやつて、おめか  
れしなけれは、ならぬのだ。  
就寝用意が早く、お話を、澤山  
読んでくださつた。





教正理をしてゐると私の  
レニコートのバンドが出て来

今日は第五日の授業で一時間めの  
國語の時間は、四の楯むらの火をし  
た。三時間めと四時間めは、本田寮  
に行き、二年生の荷物を整理した  
り、またの整理をしたり、お掃除  
したりした。お後は寮に歸リ  
いまでも引こしを出来るやうに  
仕たぐした。出發用意の時に  
下へ降りて行くに、みづのちゃん  
が、あみの上に來せてお慰めをの



もって來てくださったので、それをも  
いただいて、並んでゐると先生が  
「行かなくてもいいのよ、本田寮に、  
あつしやつたので私達は、わい」とい  
つて喜んでた。何といつてもうれい。  
學校に行くと、三部六年がそのこと  
を聞いて、ぶつく／＼いづてゐた。  
夜お風呂に這入り、這入った順  
に寝た。



(木) 日 八 月 一 十



今日は、第六日の授業だが五六年はま  
ぎ運び、四々は寮に歸つてお部屋がへた  
途中まで行くと、はなをが切れたので、  
寮に歸り、先生に下駄をおかりして、又運  
びに行つた。一回運ぶと六年きがかは  
つてくだつたので、休んでゐると、みぞれ  
が降り出したので、その、杉浦さん  
のお家に這入つて、雨やどりをしてゐた。  
その方は、とてもしんせつで、柿まぐ  
ださつたり、寫眞を見せてくだつ

たりした。それから又一回運び、それから圖書館で休んでゐた。  
午後、荷物の整理をしてから、英靈むかへに行つた。

今度から、米山先生が本田寮にうつしやるのだ。私は、又もー  
つまらなかつた。今日から、教習室は、すがらんになつた。

十一月九日 (金)

今日は、お天氣がよいので、立野ヶ原へ、冬の用意に、大根を取りに行  
つた。通り道は、蛇谷の方へ行き、それからその道を通りすぎ  
で、神明社といふお宮に行つた。そこに、五六男がひいて来た車ま  
あき、少し休憩してから、出發した。その道は、雨でぐしよー  
なので、とても歩きにくく、堀先生が、おまけに早くお歩きにな







(土) 日 十 月 一 十



今日は昨日のつかれ休みで、休養だ。  
私達は西尾寮に行き、ずいきのか  
かむきをした。今日のずいきは青  
くて、むきにくかった。私達がむい  
て、六年生があんだ。すんでが  
う寮に歸った。午後、寮に  
歸って自由だったので、私は日記  
を書いてゐた。

(日) 日 一 十 月 一 十



今日は全校鍛錬だと思つてゐたが、  
つがうで、私達は又、西尾寮に行  
つて、ずいきのかむきをした。  
やつぱりむきにぐくつて、私達が  
むき、六年生があむきだ。すむき、  
ずいきの葉っぱは、持ち、大根の葉、  
一ぱち持つて、寮に行つた。  
それから、寮まで寮校へ来た。  
お昼食は、こけの這入った御飯  
で、とてもおいしかった。



（月） 日 二 十 月 一 十



今日は一日めの授業をした。図畫は  
一つものやうに阿部先生で自修だ  
った。地理はやつぱり九州をした。  
算數は、小數點の掛算を、四時  
間めまで、二時間つづけてやった。  
だいぶおくれてしまった上に、今が  
一番大事な所だから大へんだ。  
本當ならば阿久澤先生が先月の  
十五日ごろ次の本に這入ります。そ  
おつしやったのだが。



二後は雨が降ってきた。たのびは  
うしろの窓縫室にゐる。雨がや  
るまで、窓縫室にゐる。日記を書  
いた。夜も大ごろきうだった。ガ  
リのおすてや神も出た。おすしは  
やなぎさんが作ったさうだ。  
とてもおいしいかった。

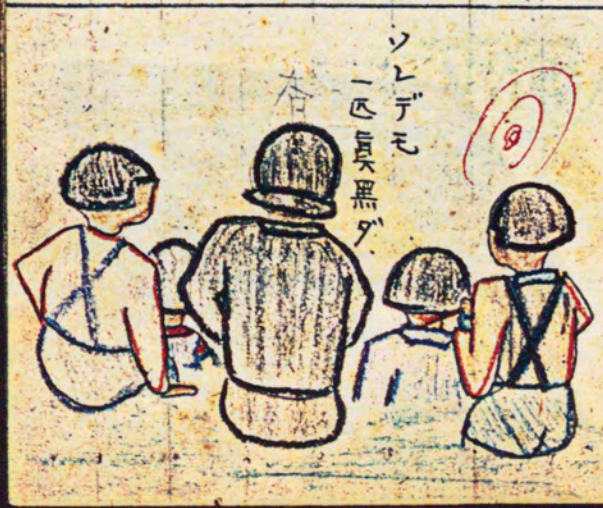


十一月十三日

(火)

川の方に降り、そこで先生に本を讀んでいただいて、その中から、どれがいいかえらび出したが、きこまうなかつた。すぐにあ

晝食なので、察に歸うずに、學校へ行つた。  
お晝食を早めにたべて、驛へ、松ちやんのお母様  
を、おむれそに行つた。たつは、松ちやんに、た  
いひつゝやうた。それのら、お改事場の横で、  
いきのかめむきをした。その後はずつと、お  
裁縫室で、あみ物をしていた。夜、察に歸つ  
て、からを、ち様のおみやげの、こんぺいご、乾  
パンを、いただいた。





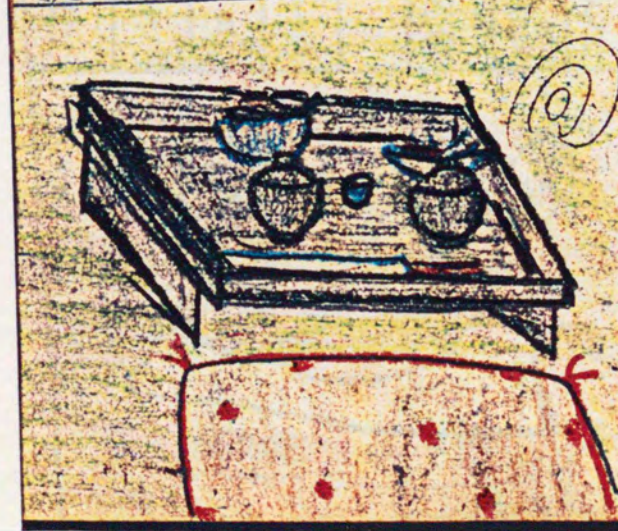
十一月十四日 (水)

今日は二日めの授業をした。お武蔵はスリ  
ズリの所を縫った。私はななめの巾を忘  
すねてしまったので、そで口を縫った。  
國語は、お七の火を、あきひいた。國史  
と算数は、自修だった。午後先生方が御  
用がおありになるので、しばらく圖書館  
にゐた。それから三時ごろ寮に歸った。  
お夕食の前に、茂木先生が東京にお歸  
りになった。



十一月十五日 (木)

今日は十五日なので朝食後、米運びを  
おまかせてもらい理科じゅんぱ室で  
体重測定をした。私は0.5もへってゐた。  
今度こそは、ふえうだらうと思つてゐたが、  
ぱりへってゐた。圖書館に行くと、國語を  
してゐて、描むらの火を終った。地理は、  
九州とそ  
の島々を終った。四時間めは自修だ  
った。お晝  
は、さといもの御飯だった。寮に歸  
ってから、お  
家の方が火鉢に火を入れた。だ  
った。  
夜、まじ様が、お歸りになったので、  
そのお祝





ひた私達もよんでみださった。察に歸る時に、おはしを持つて歸った。  
少し、火鉢にあたって、うもとの教員室の奥のお部屋へ行った。ずらりと  
一人一人の御ぜんが並んであったので、私達は、目を丸くして、皆々まで  
顔を見合せた。せいの際に、おはしにすわり、いただきます。でおわんのあ  
たを取る。ほうれん草とお赤飯の盛り込んだ、おわん、おさし、お魚  
のしんぶら、お魚、山いも、久しぶり、にいた、だん、一人一人の御ぜんの御ち  
さう、とても、おいしかった。御ぜんをさげて、いた、だいて、から  
レコードを聞き、私達も、歌を歌った。私は、山の奥の一軒屋を歌った。  
阿部先生は、おこく、いの、さつま、びわ、かう、たちの花などを歌ひになった。  
今夜は、楽しく、すごした。

十一月十六日 (金)

今日は、第四日の授業をした。お米運びの後、図書館で先生を  
おまちして、おたが、たう、たう、先生はお見えに  
ならなかった。二時間め、三時間めは、察に、歸り、  
明日の歌は何をするかをきめた。四時間め  
は、図書館で、算数の六十の頁をした。  
始めは、むつかしいなあ、と思つたが、だん、  
やさしくなつて、しまひに面白くなつて来た。  
昼食がすんでから、先生方がお急がしい、  
ので、図書館にゐた。しばらくすると、師



図書館で先生を



内先生がいらつして、まだ時間がありますから寮に歸つて、  
明日のあけいこをなさうとおつしやつたので、私達は寮に歸つて、  
明日の娯樂會に歌ふ歌をきめた。お屋根のすずめ、ばくの父さん  
小鳥のお話、山の奥の一軒屋、舟は舟よ、の合唱、前野さんの、  
一寸ぼうしのどくしやうなどいろいろきめた。さち様が火鉢を持っ  
て來てくださった。夕食は初手女の部屋でいただいた。夜も先  
生方がお急がしいので、先に歸つた。寝る前に、森田さんが持  
つて來てくださった、さつまいもを、百合子さんがぶかしてくださつて持っ  
て來てくださった。寝る時に、森田さんにお禮をいった。

十一月十七日 (土)

今日は楽しい楽しい娯樂會だが、午前中は第五日の授業をした。  
一時間めは、男子が西尾寮に歸つたので、女子は  
朝鮮のおなかの炊き、全文書きをした。  
二時間め、三時間めは自修だった。四時間  
めは、國史で、平安京を終り、木材布に這入つた。  
午後一時から、娯樂會をした。一番初めは、西尾  
寮の七日間といふ紙芝居をした。本日寮は、  
唱歌を歌つた。とても面白かつた。皆んなが  
始めに歌ひ、それから三須さんが、そ水を反たい

七日間





に歌ふのだ。一歩六年の思ひつきあやうもて  
 も面白かつた。都と田舎の、とうろく會の時  
 は、ぬは、田舎の方がよかつた。東京の方は西尾  
 寮だけだった。やつてゐる中にどうもへ  
 リくつになつてしまふ。ぬは、手を上げやう  
 上げやうと思つて、どうしても手が上げら  
 れなかつた。うんでから、後は、ずっと學  
 校にゐた。



十一月十八日（金）

今日は、全校休みのはずだが、地面が、か  
 りめの授業をした。國語は朝鮮のなな  
 の冬をお習ひした。算数の後に、今日は音  
 樂室があつてゐたので、音樂室に行き、久し  
 りに音樂をした。しつてゐる歌を昔の歌  
 った。しらなかつた。母の歌もお習ひした。  
 一回で、氣に入つてしまつた。お晝食はお  
 いしい、おいしい、さつまおもの、ふかしたのだつ  
 た。午後、寮に歸つて、近藤先生が耳かき





をいしてくださった。夜歸つてから、外で、ガミ  
洗ひをし、それから、お風呂に這入った。  
寝た時は、九時すぎだった。

十一月十九日(月)

今日は休養なので、午前中、寮に歸る。すぐに  
お洗濯をした。昨日のお風呂のお湯で、下洗ひを  
し、お家の方がお風呂に、お湯で、下洗ひを  
をつけて洗った。お洗濯をすませると、ひな病  
と、白百合のお部屋に、五年と四年に分れて、お勉強をした。  
皆んな、明日の地理の予習の練習をした。神戸がら下關までと、



九州と、その島々だ。午後、日記をつけた。おやつに、お家の方  
が作ってくださった、いんげんをいれた。夜も、五年と四年に  
分れて、お勉強に、あたりながら、五年生は、肺内先生に、地理の  
お勉強を教へていただいた。

十一月二十日(火)

今日は、また、いんげんへ行軍だ。おうちまでは、くぬ山と、  
同じだ。歩いてゐると、しらす、しらす、高い所へ登つてゐた。少し高め  
の所で、休憩し、そこで、暑いので、上着をぬいた。森先生は、もう、三分  
の一は、来ておますよ。と、あつて、まだかな。くぬ山、思ひながら、  
やうと、頂上につくと、しばらくの間、うめ、きれいだ。といつては、るかた、



見える、南砺波をながめてゐた。そこで宮地先生にいろいろ山のことについて聞いていただいた。それから各寮にわかれて、鳥山や石切場を見に行った。前寮は初めに鳥山を見に行った。あみには、アツ鳥やうぐすすががいてゐた。石切場では、一目で大へんだといふことがわかった。とてもすごい。二人でめずか三年の間にこれだけ出来たといふお話を聞いた。そこからさうさの頂上までの途中であいはいあいさつよいもの、お晝食をいただいた。たべ終るとさっきの所へ大急ぎ



で歸つて来た。又さっきの道を通つて、歸つた。寮に歸つてから野村さんと日記をつけた。それからこの間の乾パンとコンペトとお家の方がくださったあんこのついたおもちをいただいた。

十一月二十一日（水）

今日は一日めの授業だが、作業はかゝつて、お達は由尾寮の倉庫の手入れをした。さつまいもの整頓をしたり、むしうの整頓をしたり、ほうきで掃いたりして、すぐにお仕事が始まりました。その後、図書館に行き、そこで坪内先生に、南海の合唱といふ本を讀んでいただいた。私は、日記をつけ、おたがどうもさつちの方が面白くなつてしまつて、さつちの方をお聞きした。午後、寮に



歸り師をいただきながら日記をつけた。  
もうだいたいおひついて来た。夜は火鉢をかこ  
みながら先生に南無の合唱のつづきを讀んで  
いただいた。明日は五年生だけで山田へ野菜  
運びだ。十一月二十二日(木)

今日は山田村へお野菜運びだ。相にス  
雨が降ってゐる。たりない物は四年生におか  
りしてすっかり用意をことのへた。朝食

の時に宮地先生がお野菜は四五年が運ぶことになりました  
から用意をしておない組はこれから歸つて用意をとい



つしやい。とあつしやったので、私達は寮に歸つた。さうして四年生に  
おかりした物をおかへして又すっかり用意をすませて出かけた。  
行くときまだ時間があるので、圖書館の二階  
に行き、す田さんに長ぐつをかりて来た。  
字も絵も大伴よりかゝりおます。  
終の方の絵が少し乱雑にしろおます。  
これからためめ様に頑張りませうね。  
ニナ四ノ梅









十一月二十三日(金)

今日は新嘗祭だ。五年生と六年生が昨日のお  
野溪の整理をした。しばらくの間、講堂で遊ん  
でゐた。始めは、ずいこのかはをむきをし、それ  
から、それとあんだ。私は、なめないがよく出来  
ないので、宮川さんによつてもらつた。六男は、こ  
てもなめないが上手だ。ずいこをしてみよと、  
今度は、大根の葉っぱを、四五本づつあんだ。  
六男は、皆んな、一、行くたびに、又ター、御入浴。といつて、ていねいに立  
てゐた。すむと、皆んで、葉っぱを、登降、口まで運んだ。それから



オカヘリナヤイ

私は、廊下のお掃除をした。それから、平松さんと、西尾寮に  
お味噌を取りに行った。倉庫に皆んなゐた。歸りは、こ  
も、重くて困つてゐると、六年生が、車を、ちやうどかへす所で、早く来い。  
乗せてやるよ。といったので、乗せてもらつた。とても面白かつた。  
午後、寮に歸つて勉強をしてゐると、亜米利カの自動車が通つた。  
アメリカ人が二人、乗つてゐた。見たい———と思つてゐたアメリカ人を  
やうと見られたわけだ。少しすると、茂木先生が、歸つていらつたや  
つた。うれしい！皆んな、聲をそろへて、「お歸りなさい。」といった。  
夜、お風呂に這入つた。一番は、ぬるすぎな人だった。私は、どち  
うでもいいので、真中に這入つた。



十一月二十四日 (土)

今日は井波の別院へ行軍だ。朝食の時に  
宮地先生が「昨日は井波まで二理ちよんだ  
といひますが、もつと遠いさうですから、つがう  
で高瀬神社から歸つて来るかもしれません。  
とおつしやった。行く道は驛の方に行き、  
吉江校のそばを通つて行くのだ。右めの甲  
は元氣よく歩いてゐたが、しまひにわづか  
れて来て、赤が見える。柳野さんとおれじやないかなあ。といひ  
ながら歩いてゐた。宮地先生は時々お百合やうさんに道を問ひ



ていらつしやった。高瀬神社は井波の町が遠くに見えるくら  
ひの所にあつた。やつとやくと、もうお昼食だつた。前田先生は  
芝生の上でたべた。十二時ころ出發し、別院に行つた。とても歩きに  
くいところを歩いてやつとゆについた。井波の町は思つたよりもリ  
つはで、びつくりしてしまつた。別院も城端よりかは大きかつた。  
宮地先生が別院について、お話をしてくださつた。  
出發して、何回も——まだかなあと思ひながら歸つた。



十一月二十五日(月)

今日は休養日だ。午前中、寮に歸って、柳野  
さんといっしょに机を使つて日記を書いた。  
やつと日記が書いて、冬うついた時、師内  
先生と、茂木先生がごうりやクリームソー  
などを買つて歸つていっしょにやつた。  
さうして、ごうりのない人に一足ぶくたさ  
つた。それに、名前をつけて、お昼食の時が  
うおろした。午後、日記をつけ、勉強をした。  
夜、電気の下  
であみ物をした。今度、五本指の、手袋を作るつもりだ。



十一月二十六日(月)

今日は二日めの授業だが、六年生と、男の先生方が山田村の  
方にお野菜を取りに行つて来たさるので  
私達は全部自習になった。さうして  
小さいじやんにここへ屋敷に行つた。  
五年生は、天塚さんから歸つて来た高木  
さんの家。四年生は、吉波寮のそばだ。  
私は、番が来るまで他の人と、この間、運んで  
来た、大根葉の葉色の、葉を取つて、たいひ  
所に捨てて来たたりしてゐた。平松さん





之、柳野さんが歸つて來たので、私と野村さんが寮に歸つて  
床屋さんの家に行く代りをして、床屋さんに行つた。私が行  
つてから他の人がしたのでしばらくの間、まてゐた。その間に  
私はあみ物をしてゐた。萩原さん、坂口さん、八百谷さん  
は來たが、野村さんが来るとも十一時近くだったの  
で、午後にして、學校に行つた。午後、日記をつけながら  
茂木先生のおみやげのさつま芋のふかしたのをい  
ただいた。夜、ひな菊の部屋と、白百合に分れて、丸鉢を  
かこんで、ぎんなんのたねを火鉢に入れて、焼きたた  
いた。ばんばんと音がして、火ははねるし、とてもこわが

つた。さうして、十づついただいた。

十一月二十七日 (火)

今日は、第三三の授業をした。お習字  
はお整書をした。二枚して、どちらで  
も、いい方を出した。地理はこの間から  
練習してゐた。考査をした。喜門先生  
は、地圖を出すぞ。何んておつしやつ  
て、私達が一生懸命に練習して來た  
のに、出してくださらないので、先生に  
いふと、いい勉強になつたよ。なんて





笑つていらつしやうた。四時間めは自  
修だった。午後祭に歸リ、種々さま  
事をいいただき、日記をつけた。夜、二  
日の娛樂會のおけいこをした。やつぱ  
りしたきりあずめをするこゝとなつ  
た。棚野さんがすすめで八百谷さんが  
おぢいさん、野村さんがおばあさん、松は  
途中の人になつた。とても面白く思  
來た。おけいこがすすむとさうまいものあんこの這入った。  
むしパンをいただいた。



十一月二十八日(水)

今日は四日めの授業をした。一時間めは國語で月の  
世界をお習ひした。二時間めは自習  
だったので高田先生に怪談を一つと笑  
ひ話をしていただいた。後は全部自修  
だった。午後、いしやうをつけて、昨日のけき  
のおけいこをした。夜、一班からお風呂  
に這入った。番が来るまで、茂木先生の  
千師のかねむきのお手便ひをした。ナイ  
フがニグで、眞黒になつてしまつた。





十一月二十九日 (木)

今日は開校記念日だ。朝會の時に、お式があつた。さうして、今日は開校記念日なので、休みといふことになつた。寮に歸ると、すぐに、お洗濯をした。お洗濯がすむと、お昼食まで、時間が少ししかないのので、下で日なたぼっこをしながら、あや物を買つた。午後、寮に歸る時に、先生に小包をいただいた。先生は、お夕食のお仕たくで、お急がしいので、「歸つたら、小包を開いていふ。」とおつしやつた。



ので、歸るとすぐに開いた。衣るいや、ポニーエ、春めらざうり、ぎ布などが這入つていた。鉛筆は、五本、這入つてゐるはずなのに、一本しか這入つてゐなかつた。荷物が、かたずくと、又、下に行つて、日なたぼっこをした。夜、寮に歸ると、こたつのふとんの中から、ネズミが飛び出したので、大さめぎをして、阿部先生と、ひな菊で、ネズミ取りをした。就床用意の時に、茂木先生が歸つていらつしやつたので、小包をお見せした。



十一月三十日 金

朝かんづきまさがすむと昨日ついたせー  
ラー服を着た。大きくて洗面する時  
に困ってしまった。授業は五日めの授  
業をした。國語は兄さんの説明を終  
った。二時間めと三時間めは算数を  
した。四時間めは國史で太宰府を  
終つて世のまごまごに這入った。

午後は寮に歸つてすぐに月末大掃除をした。  
上から下まで全部荷物を下して、整頓をした。



そのついでに昨日の小包もいっしょに整理した。  
それから坂口さんの小包を見せていたたいた。

夜、みかんを三つぶんけて食べた。

十二月一日 土 曇時々雨

今日は午前中五年生は東太美へ  
お野菜を取りに行った。始めは圖  
書館で算数をした。でもすぐに茂木  
先生が向かへにいらつたので、すぐ  
寮に歸つて仕度をした。私は柿内先  
生にリュックをおかした。たので、小村



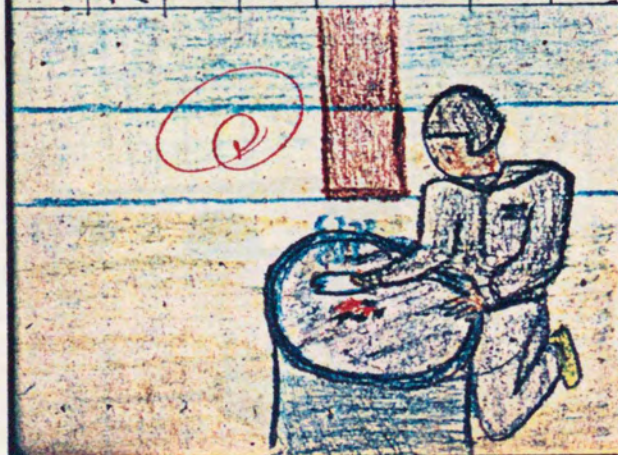


さるの風呂敷をおかりして、すぐ笠をかぶり、レニコートを着て行った。とても風がつめたく、小矢部川の高宮橋をわたるとなほさらやめれなくなった。東太美の方はまだ柿がなつてゐた。寒いので、どんどん早く歩いた。お野菜は、少ししかないので、おと、高島さんは持てなかつたので、坂口さんにかめつていただいた。歸りも、どんく歩いた。歸ると、まだ時間があるので、圖書館で、茂木先生に本を讀んでいただいた。午後、寮に歸つて、みかんをいただいた。昨日いただいた時は、青かつたのびだ、いゝ色になつてゐた。夜、ぎんなんとかやの

賣を、ただきあみ物をした。

十二月二日(四) 雨時々雪

今日は休養日なので、午前中お朝食がすむと、寮に歸った。寮に這入る前に、ジープに、アメリカ人が乗つてゐるのを見た。お朝食後、おが少くなつたので、せきかへをした。私達は四年生とはなれて、六男といつしよになつた。寮に歸つて、火鉢の所で足袋を乾かした。それから、おこたつにあ

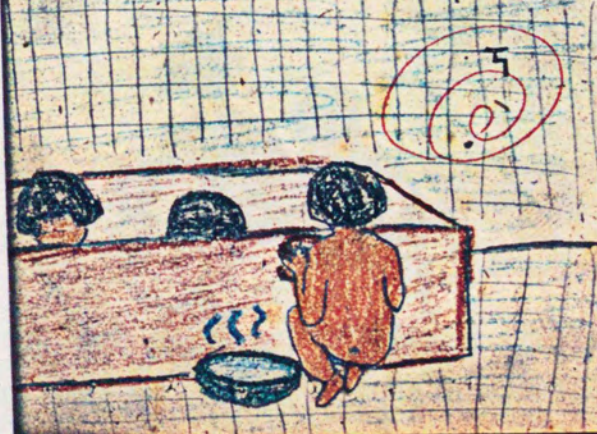




たつて阿部先生といふいふなお話をした。さうして皆んな  
一放つ葉書に繪を書いていただいた。私はくぬ山にしてい  
ただいた。時々雪が雨にまぎつて降つてゐた。大きなぼたん  
雪だった。午後もおこたつにあたたつた。今日はいやれ寒い。  
夕食の時に、おみかんをいただいた。平田さんがくぼつて  
くれた。就床用意の時に、兵隊をち様に「お休みなさ  
いませ。」をすると、「大澤さん明日、お店の方にこそすけ  
や、いらぬ物があつたらあつたしなさい。」とおつしやつた。  
阿部先生も「おたのみしなさい。」とおつしやつた。茂木先生も  
ゆるしてくださつたので、おねがひするこゝになつた。

十二月三日(月) 曇時々雨

今日は新しい時間おりの一日めの授業をした。一時間めは  
自修だった。二時間めは地理で北陸之山  
陰に這入った。三時間めは四時間めは  
算数の重さの體せきをお習ひした。  
午後寮で日記をつけた。夜、お風呂に這  
入った。今日は一班ののりの人、二班の始め  
の人からだった。私は二番に這入つて、  
おみ先ひをした。寝る前には足にデス力  
ナーコウをつけて寝た。

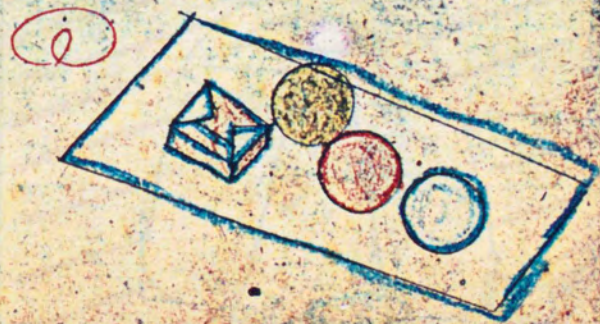




十二月四日 (火) 雨

今日は大根運びだが雨なので第二日めの授業をした。一時間めは國語で柿の色に這入った。二時間めは國史だったが宮地先生がいらいやらなかつたので自修だった。三時間めになると宮地先生がいらいやしてちやうど三時間めが自修だったので、三時間めに國史をした。四時間めは算数をした。

午後、寮に歸つて野村さん、机を使って日記をつけ、小林さんのお母様が送つてくださったかわり玉とキャラメルと。



お菓をいただいた。かわり玉は本堂に久しぶりだ。夜御飯は白米御飯で、なんと大根のお着物だった。としても、おいしかった。

十二月五日 (水) 曇雨

今日も雨なので第三日めの授業をした。國語は柿の色をした。この次の時間で終つて、今度はいきなり十三元日の俳句をお習ひして、それから十四の源氏と平家をお習ひし、それから考査するやうにするのだ。二時間めはお習字で祖先子孫美風の練習をした。三時間めはお裁縫で、





また、米山先生が歸つてゐらうしやらなかつたので、五六男の人といつしよに冬げしきの音楽をした。算数は重こと体構を終つて、ソロバンに這入つた。時間の終りは、ソロバンの間だいが何だい出来るかやつた。久しぶりだったので、おそくなつてしまつた。午後、寮に歸つて阿部先生に、圖書を授へていただいた。手さげのもやうで、やつてゐると面白くて、仲々やめられなかつた。夜、御飯の時に、乾燥芋をいただいた。



十二月六日 (木) 晴時々曇雨

今日は第三目の授業をした。一時間めの國語は今日で柿の色を終つた。地理の時間の前に降登口で、アメリカ人を見た。面白、いボウシを横にちよつとかがめて、向かうの方から、ちよつとこつちをのぞいた時には、びっくりしてしまつた。十人位、小がたの自動車のそばに立ってゐて、にこ／＼してゐた。地理は、北陸と山陰をし、新編をいた。圖書は、自修で、算数は、貫久介





の所をち習ひした。午後寮で勉強してゐると、野村さんのお父様がいらつしやつた。茂木先生が小林さんのお母様が送つてくださったキアラメルム、カタパンとお藥をいただいた。その間に茂木先生、耳アカを取つてくださった。夜、前野さんのお父様とお母様が、面會にいらつしやつた。さうして、いろいろ物を持つて来てくださった。みかん、クリントウ豆、なごを、お禮をいって、火鉢のまはりでいただいた。みかん二つとお豆は、明日にして、箱に入れてしまった。

十二月七日（金） 曇り小雨

今日は第五日めの授業だが、一時肩めに四五女で、お野菜運びをした。始めは、八百谷さんと、西尾寮におぬぎを持って行き、それから又学校へ行き、二三日大根を運んだ。最後、西尾寮に行きまきを持って歸つた。図書館に行くともう二時間めが始つてゐた。でもまだ喜門先生が待つていてくださったので、十三の俳句を讀んで二時間めは終つた。



四五女で、お野



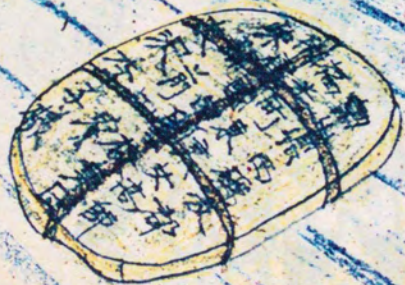
三時間めは自修で、四時間めは國史で、世のこまごまを  
を終り、まくら武蔵に少し這入った。午後、圖書館  
のお掃除をしてゐると、ちやうど度体操の時間で、英助  
先生がお話をしてくださるので、大急ぎですませ  
て、お聞きした。一回歸る時にお聞きした、風の中の  
子供だった。寮に歸つて見ると、四年生は皆、前野さ  
んの荷物を見てゐた。お八つに、かりんとうとお豆と、  
みかんをいただいた。夜はお風呂で、防空ゴウをし  
て遊んだ。面白くて暖かい。這入る前に、アメ湯を  
いただいた。湯ざめがするといけなないので、すぐに寝た。

十二月八日

(土)

雨降つたり止んだり

今日は第六目の授業をした。國理算史で、國語は十三  
の俳句を三句だけお習ひした。理科と  
算数は、加藤先生が、御病氣なので  
自習だった。さうして、茂木先生に本を  
読んでいただいた。デニチのアントニだ。  
四時間めは、鎌倉武士をした。さうし  
て、午前中書いた本を書き出してい  
た。寮に歸ると、柳野さんと共に、小  
包が来てゐた。ひもをほどいたが、





仲々ほごけないので、坂口さんにぼごいていただいた。  
 開いて見ると、思ったよりもいろいろな物が這入っ  
 てゐた。フウセニはお正月に皆んなで遊ぶことにした。  
 本はすぐに「見せて」の太はんじやうだ。  
 終りの事をサレにヨリヨリにね。終るまで一筆命頑張りまう  
 ね。絵が書けるせんりね。  
 字も冷もともまじりやうに。こゝろで再々まじりね。  
 最後の一月もいりやういりやうに、ついでに正月十日校  
 かたずくとお八つのキヤメルと、カリントウと、お薬を  
 いただきながら、火鉢にあたり本を讀んだ。

十二月九日(日) 雨時々曇

今日、十時から野村さんのお父様にきやうげんを見  
 せていただくのだ。朝食がすむと  
 寮に歸り、座ぶとんのがわりの防空頭  
 きんちしようて、リヤカーに味着づけを  
 のせて、学校まで運んだ。出る時に  
 寮に野村さんのお父様が夕勢のひと  
 いらつしやった。お裁縫室で少し休  
 むと、すぐに講堂へ行き、自分の座  
 を作った。しばらくすると始つた。





始めは、本廣がり、ブス、かたつむりの順でしてくださるのだ。思つたよりも、もつとく面白。だうも上手には書き表せない。ブスは御主人のおるすの間に、お砂たうをなめるのだ。かたつむりは、山ををかたつむりとまぢがへる、とても面白い。本營は、それで終りのばづだが、狩別に、もう一つ、しゅうんといふのをやつていただくことになった。それは、御ぼんさんのことだった。お晝食の時、成りんごをいただいた。久しぶりで、とてもおいしかった。午後、野村さんのお兄様がいらつしやつて、東京のお話をしてくださつた。

十二月十日(月) 雨曇

今日は第一日の授業をした。朝集会の前に、野村さんのお兄様が、着物を着ていらつしやつた。一時間めは、圖書で自修だった。手さげのまやうを書いた。二時間めは、地理で、所波平野と、石川県の方を少しした。三時間めは、算数で、自修だった。午後、寮に歸つて、日記を書いてゐると、阿部先生が、こんな寒い日は、勉強をしないで、こたつにあたれ、とあつしやつたので、日記を書くのをやめて、こたつに

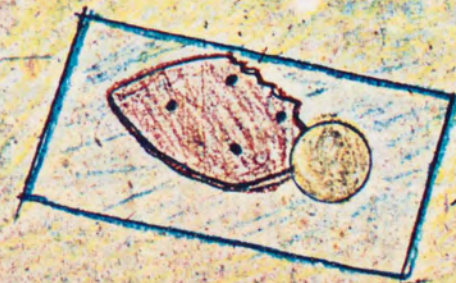




這入った。お入つに柳内先生のおみや  
げのさつま芋をいただいた。火鉢で焼い  
た。

十二月十一日（火） 雨雪

今日は第二日めの授業だ。朝食後大急  
ぎで、お米運びをした。小泉さんにく  
つをおかりして、二部六年にすぐ並ぶお  
かりして、今度は西尾寮に大根運びを  
した。大急ぎで西尾寮に行き、自介で大根運  
つめたくて、終つことしうになりながら、圖書館



の前に行くところというばうまいしてしまった。柳野さん  
手便つておただいて、又、西尾寮に行つた。つめたいしおも  
いし、一番びりになつて半べそをかきながら、図書館に行  
き、圖書館に行くと、もう皆んな火鉢にあたり、園史が  
始つてゐた。先生に、禮をいして、火鉢のそばによると、坂口  
さんと、柳野さんが私の顔をじつとにらんだので、私は  
下をむいてしまった。園語は元気をやつた。寮に歸ると  
きにまさきを持つて歸り自由だった。さうして、お薬と、カクパ  
ン  
をいただいた。夜はお風呂だった。のめれまんよ。

じつとにうんばと思ふのは間違ひで、御苦労様といふ思ひ



十二月十二日(水) 雪

起床前高島さんが「雪がつもってやるめよ。」  
といったので、早く起きたくて、むずむずして  
ゐた。起床になると、すぐにまどをあけて  
見た。真白だ。学校へ行く時にはき物  
がないので、運動ぶつをはいて行った。学校  
へ行つて見ると、もうぐじよぐじよになつてゐ  
た。お米運びの時は、三須さんは長ぐつをかり  
てやつた。大根運びは、今日も二回だった。二度めは柳野さんと  
いつしよで河回もく。電信柱ごとに休んでやつとついた。



三時間めはお裁縫でえりぐりを切めた。四時間めは大根  
の俳句會をした。今日はただ書いてえらんただけだった。

午後は寮でこたつにあたつた。夜もこたつにあたつてあみ  
物をした。十二月十三日(木) 晴のち曇

今日は久しぶりによいお天気だ。お米運びとお野菜運びは四  
年生が手便つてくれた。今日は早く沢山運んだ。

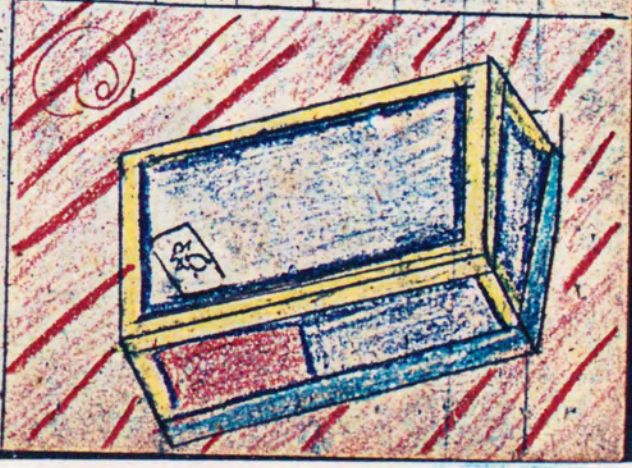
図書館に歸つてから、火鉢にあたつた。二時間めは火鉢の  
まはりで、俳句會のつづきをした。私は紙を寮に忘れて来て  
しまったので、大急ぎで走つて寮に行き、紙を取つて来た。圖書  
館に行くとき、まだ二三人しかやつてゐなかつた。午後は寮に歸



つて、箱に千代紙をはった。夜御飯は白米の御飯で、ごまあえのおかづだった。夜は又あみ物をした。

十二月十四日(金)

今日は図書館が、みんな會で使へないので、各家ごとに第五日めの授業だ。午前中十一時ごろまで、二部六年に手便つていただいて、お野菜運びをした。三列めの少しのこつていたの、二列めと一列めの少しを今日で運んだ。もう明日で食料運びは、んは終りだ。寮に歸つて十四の原太と平家のかいしやくをした。牛糞もつづけてかいしやくを



した。私の所は、百五頁の熊谷といふ所から百六頁の虎のごとき少年なり。といふ所までだ。私の所は、わりによさしい。

十二月十五日(土) 雲時々雪

今日は体重測定日だ。一時間めに、国民学校の小使室で、体重測定をした。久しぶり、0.5<sup>k</sup>ふへてゐた。ぬぐ時は、とても寒かった。体重測定がすむと、本田寮に行き、お米運びをした。今日で、食料運びは、んは終りだ。前野さんに長ぐつをおかりしてやった。お米運びがすんで、



お米運び



學校に行くとき、暑いなが、今日は大根運びを  
しないでいいんですって。といったので、水  
しかつた。寮に歸つて、勉強をした。  
午後、寮に歸つて勉強をした。夜は、  
おこたつに這入つて、向かふの人のしり  
とりを聞いてゐた。

十二月十六日（日）晴のち雨

今日は休養日だ。午前中、約一時間、雨天  
体操場で体操をした。かけ走をして、それからしやうが  
い物になつた。ちんちんでかけたり、だんだん体が暖か



くなつて来て、かけ走の途中で、セーラーをぬいだ。  
それから丸くなつて走り、かけ走をやめてから、つな引  
をした。私達は、三番に勝つた。それから  
から圖書館に行き、てんらん會を見  
た。一番氣に入つたのは、第三室のつるこ  
すいれん、からこ人形などだつた。寮に  
歸つて、こたつにあたり、しり取りをした。  
午後、こたつにあたり、出發用意を早  
めにして、なわとびを持ち、學校に行  
つて、運動をした。体がぽか





て来た。夜は柿内先生におばあちゃん  
(きしやくせやのお話)をしていただいた。

十二月十七日(月) 雨

今日は第二日めの授業をした。圖書地理  
算数で授業は地理だけしかなかった。  
地理は、本當は一時間のだが二時間めにや  
った。若狹灣から間海までやった。こ  
うして北陸の山陰を終った。今度は考査  
をするのだ。地理が終って日記を書いた。

午後寮に歸って、野村さんと机を使って日記をつけた。やつ  
と昨日のが書けた。あと出發用意まで十分位なので、小泉



さんにおかりした幼年倶楽部を見た。夜はたつにあたって  
あみ物をしてゐる。お家の方が「お客様です。岩丸先生に  
ようにする方。」とおつしやったので、私達は一時「あつ。」といつて喜  
んだが、ちがふところまらないのでなりました。おめておた。

茂木先生が、下へ来てごらんなさい。とおつしやったので下へ  
行つて見るとやつぱりさうだった。「お歸りなさい。」といつて、

下で喜んだ。岩丸先生が「今本田寮に行つて来るから。とおつ  
しやったので私達は二階で喜びながらお歸りをまつておた。

就寢用意になつてもまだいらつしやらないので、先生に、就  
寢用意をのばしていただきたきふんだけひいてまつておた。



九時ころになつてお歸りになつたので、いよいよ  
つは約半年ぶりにした。

十二月十八日(火) 雪時々曇 雪かき

今日は第二日の授業だ。起床になると早く岩丸先生  
におあひしたくてむずむずしてゐた。もう雪が  
つもつてゐる。中村寮の人は私達が、岩丸先生  
がお歸りになつたあや。といふて、えつ、本當?  
といつたり、かつうれい。といつたりした。

學校でも他の寮の人達は、岩丸先生がお歸りになつたと聞くと、  
皆んな、ちういふたり、喜んでた。朝會の前に、天つち運動をして

ゐると岩丸先生が這入つていらつしやつた。朝會は岩丸先生と御いっ  
しよにした。朝食の時、有賀先生にいただいたお豆をいた。だいた

國語は、史録のまはりて、十四源氏と平家の子、やくをさした。  
國史は、考査だった。武士の起り、桓武天皇の御政治、正倉院、鳥食

堂、後三年の役、伊の起などだ。今度は、私はよく出来なかつた。  
男子の女子では、男子の方がよく出来てゐた。男子の方は、六人の内、

五人が三十九で、優だった。女子は九人で、優の人は一人だった。  
午後は寮に歸らずに、圖書館で、ストロブにあたり、日記をつけた  
りしてゐた。夕食後に、宮地先生に、先學期の國史の考査を返して  
いただいた。夜はお風呂で、かみ先ひと、お洗濯をした。



ストロブ



十二月十九日 雪時々曇

今日は第三日の授業だが、四年以上の長ぐつ、  
ゴムぐつがある人は西太美、東太美、廣瀬村へ  
お野菜やわらを取りに行くのだ。追水さんは  
足がしもやけで行けないので、私が、入つてお  
かりして行つた。九時出發で、四五年は廣瀬  
村へわらとぎんなんを取りに行くのだ。出發す  
る喜喜地先生が大きなブリを持っていらつた。  
た。始めは男子が車を引き、途中で女子にかわつた。むかしの方  
へ行くと途中でちやう度あら氷が降つて來た。なわを持つ手に



天山もつた。廣瀬村はぬりに近かつた。私と田中さんと平松  
さんと、山崎さんと高島さんと、車の着をしめてゐた。歸りは喜  
朋と生があら物屋によつていらつたので、出發は十一  
時ころだった。向かふにつくと、お食事はまだだったので、火鉢に  
あだつてゐた。お食事は六年生がまだなので、どなりの列とい  
つゝよにした。午後づつと、又圖書館でストロブにあたり、本  
を見させていた。夜、岩丸先生に御飯をうけていた。



十二月二十日(木) 雪時々曇

日は五年以上の作業で長グツのある人は  
昨日はお野菜等を取りに行ったので今日は  
長グツの人は、モシガウだけを運んだ。今日も  
逆水さんのをおびりしてやった。やっぱり長  
グツがほしい。私は、萩原さんといっしょに運  
んだ。タワラに入れて二回運んだ。か  
いのいいけれど、持ちにくいのは困った。  
がついで見たり、持つて見たり、ぶらさげて見たり、い  
なやうにして持った。運んでしまふと、モシガウ運びの人  
だけは図書館に歸った。四時間めには地理の考査をや  
った。裏日本について、山陰方面の地図だった。午後今日も  
図書館にいたがお夕食近くなつて、本田寮から三年生  
だけ前田寮に五ヒヤウ運んだ。お夕食の時に、地理の  
考査を返へしていただいた。

十二月二十一日(金) 曇時々雨

今日は五年以上の作業で、大根引きの日はあったが、出発  
の時に雨が降つて来たので、お天気になつたらといふこ  
とになつた。さうして、五日めの授業をした。二時間めは  
國語の考査をした。このごろはづつと考査つづきだ。  
がいしやくと、漢字がなふりだった。それから、火鉢に





あたり四時間めに、尺鉢のまはりで  
國史をやった。午後、午前中やうな  
びつた作業をした。私は堀田さんが  
くつをかしてくれたのでオーバース  
をかりてやった。車を引いて帰った。  
下駄の人達は四年生にくつをかりに  
寮に帰った。島の近くからかけ足  
で行った。待ってゐる時はたまに  
あつてゐた。くつをかりに行つた人が  
福袋、いいんですってよ、自分く  
て、思はずわふといつてしまった。全部大根をぬいてし



まふと、島から車の所まで大根を運んだ。道がぐちゃぐ  
なので困つてしまった。車についでしまふと、手に持てる  
だけ持つて行つた。私は車のあとおしをして行つた。  
寮に歸る前に、西尾寮へ、ふきの煮つけを運んだ。  
づいぶんおもしろかった。寮に歸つて少したつと、すぐお  
意になった。夜はお風呂で、きんぎょ生がいらつしやつて  
いろいろなお話をした。

十二月二十二日(土)曇

今日は第六日めの換業だ。一時間めに、森先生がお米の  
中からゴミをひきつてくれた。とおつじやつたので、中から  
ひきつてゐる。喜門先生が、それをやめて、一時間めは、



國語をします。とおっしゃって火鉢の  
 まはりで源氏と平家の、かいいやくを  
 した。それからつとお米の中がら、ゴ  
 ンをひろひ出し、すんでしまつてから葉  
 書を書いた。今日は冬至なので、カ  
 チヤのおかつだった。午後寮で、葉書  
 と日記を書いた。夕食は四時だった。  
 運動をするので、三時に出発もたが講  
 堂を使っていたので、圖書館のストーブにあたつてゐた。  
 お夕食は理科室だった。さうして、近藤先生がお作  
 りになつた干柿をいただいた。本當に久しぶりで、あま  
 るておいしかった。

十二月二十三日（日）

今日には休養だ。朝食をしてゐる。追水さんのお母様がいう  
 つしやつた。寮に歸ると、野村さんとお机を  
 使つて、日記を書いた。つめたかったので時  
 々火鉢にあたつた。午後、寮に歸つ  
 て、こたつにあたり、葉書を書いてゐた。  
 さうして、追水さんのお母様が持つて来  
 てくださった、アメリカのチョコレートと、  
 チュウイングガムと、カタパンをいただいた。  
 とてもおいしかった。夜は私達の

